

親日国トルコ、日本人救出の実話！

2010/09/08 06:30

一人の商社マンがトルコの首相を動かした！

## 日本人救出を優先したトルコ航空 トルコ人は陸路で脱出していた！

もうすっかり有名になったトルコ航空機による日本人救出の実話を紹介致します。お馴染み[国際人養成講座](#)の伊勢雅臣氏が森永堯著『[トルコ世界一の親日国 危機一髪！イラン在留日本人を救出したトルコ航空](#)』を元にメールマガジンで二回にわたって詳しくまとめてくれました。是非とも映画化して欲しい感動巨編です。

私はこの話が大好きで、過去二回「[百年前の恩返し](#)」と「[百年前の恩の三倍返し](#)」で簡単に取り上げてますが、今回は実際に救出に関わった方の実話をベースにした気合いの入ったノンフィクションです。もの凄く長いエントリーですので気が向いたときには是非お読み下さい（IZAの一万字の規制にはじめてひっかかってしまいました）。動画と画像を二つずつ組み込みました。

それにしても自国民を救出できない日本って、本当に主権をもった独立国なのでしょうか。はやく「日本人のための政権」を創り、このような事態になったら真っ先に邦人救出に世界のどこにでも駆けつける国軍をもつ日本にしなければなりません。

■ Japan On the Globe(663) ■ 国際派日本人養成講座 ■

地球史探訪: トルコによる[イラン](#)在住日本人救出(上)

### イラク空軍の空爆に怯えるテヘラン在住 日本人たちに日本政府は救援機を出さなかった。

#### ■1. 「頼む！ 助けてやってくれ！」

伊藤忠商事のトルコ・イスタンブール事務所長・森永堯(たかし)さんの電話が鳴った。日本の本社からだった。相手はいきなりまくしたてた。[イラクのサダム・フセイン](#)大統領が、「1985年3月19日20時以降、[イラン](#)領空を通過する航空機は民間機といえども安全を保障しない」と警告を発した。

[イラン](#)にいる在留外国人は一斉に出国しようとしている。在留邦人も脱出しようとしているが、乗せてくれる飛行機がない。ついでには在留邦人救出のために、トルコ航空を飛ばしてもらおう、トルコ政府にお願いできないか？

彼らは危険にさらされているのだ！ 頼む！ 助けてやってくれ！

1980(昭和55)年に始まった[イラン](#)とイラクの戦争は、5年経ってますます激しさを加えていた。1985(昭和60年)には[イラク](#)空軍機はテヘランの民間居住域を空爆するまでになっていた。日本人学校の先生宅の2軒隣に爆弾が落ちて5人の死者が出ていた。

さらにイラクのフセイン大統領は、[イラン](#)領空を「戦争空域」と宣言し、民間航空機もすべて撃ち落とすという、歴史的にも類を見ない声明を出したのである。

#### ■2. 日本政府は救援機を出せない

当時、テヘランにいた野村豊・駐[イラン](#)大使は当時の状況をこう語っている。[1,p142]

在留邦人の生命財産の保護は国の主権として大使館の一番重要な仕事のひとつで、私の脳裏を一刻も離れることのない問題でした。外国は自国民が外国でクーデターや災害等に巻き込まれると救援機や運搬機で自国民を救出する慣例がありますが、日本は55年体制論争が続いており、当時、救援機や政府の専用機を所持していませんでした。

「55年体制論争」とは、社会党の「自衛隊を海外に出す事は、侵略戦争につながる」という主張によって、海外在留邦人救出のための手段が必要だと言う声も、押しつぶされていた状況を指している。

17日にフセインが出した「[イラン](#)戦争区域宣言」を受け、私はただちに日本へ救援機派遣要請を出しましたが、本省から、救援機派遣には[イラン](#)と[イラク](#)両国の安全保障の確約を現地取得するよう指示がありました。民間航空機の乗務員の安全確保が

優先されたからですが、そのような確約は不可能でした。

自衛隊救援機も出せず、政府専用機もないので、民間航空会社に要請するしかないわけだが、その乗務員の安全確保が保障されない以上、日本からの救援機は出せない、というのである。空爆の恐怖に曝されている現地在留邦人は、日本政府から見捨てられた形になっていた。

### ■3. どの航空会社も「自国民優先主義」

当時は、JALもANAもテヘランには乗り入れてなかった。危険を感じていた在留日本人の中には、欧州各国の航空会社に発券を申し込んでいたが、どの航空会社も「自国民と外交官を優先しなければならない」と拒否した。

ソ連のアエロフロートなら乗せてもらえるというので、オープン・チケット(搭乗日未定の航空券)を事前に入手していた日本人も多かった。当然、搭乗できると思っていたので、空港のアエロフロートのチェックイン・カウンターでチケットを提示して、搭乗手続きを行おうとした。

ところが、アエロフロートは「ソ連人かワルシャワパック加盟国(ソ連陣営の共産国)が優先」と言って取り合わない。どの航空会社も「自国民優先主義」が国際常識で、日本人を乗せてくれる会社はなかった。特に、家族連れ日本人駐在員は、奥さんや子供たちを脱出させる便が見つからないことから、絶望感と焦燥感でパニック状態に陥ってしまった。

こうした窮状が伊藤忠のテヘラン事務所から、東京本社に伝えられた。東京本社から、「頼む！助けてやってくれ！」という悲鳴のような緊急電話が入ったのは、こういう状況だった。



### ■4. 「何故日本の航空機が救出に来ないのか？」

電話を受けた森永さんは、不思議に思った。[1,p23]日本人がこんなに危機に直面しているのに、何故日本の航空機が救出に来ないのか？

今起きている問題は、[イラン](#)にいる日本人の問題なのだから、本来[イラン](#)と日本が当事国である。トルコは全く関係のない第三国である。それなのに何故トルコが巻き込まれるのか？森永さん自身が疑問に思った事は、トルコ政府からかならず質問されるだろう。それにどう答えるのか。さらに彼らは当然、次のようにも言うだろう。

テヘランには大勢のトルコ人がいる。トルコ政府としてはまずはトルコ人を救出すべきなので、その対策で頭が一杯である。外国人である日本人救援のことまで頭が回らないのが実情なのに、何を言っているのだ？トルコ政府に頼むにしても、こうした質問や言い分に、すぐに答えられるよう、説得力のある回答をあらかじめ用意しておかなければならない。

### ■5. 「体当たりでお願いしてみよう」

良い考えが浮かばないまま、いたずらに時間が過ぎていく。一方で、テヘランの在留邦人の窮状を思うと、もはや思案している場合ではなく、一刻も早く行動を起こさねばならない。焦燥感と責任感で心臓がつぶれそうだった。

森永さんは決心した。頼む相手は、無理筋の話でも、即断即決で引き受けってくれるトップでなければならない。しかも自分の親しい友人で、強い指導力と実行力のある人でなければならない。となると頼む相手はたった一人しかいない。「オザル首相にお願いしよう」と決めた。

そして、本来、筋の立たないお願いなので、無手勝流となっても仕方がない。これ以上へたな思案をせずに、体当たりでお願いしてみよう。意を決した森永さんは、オザル首相のオフィスに電話をかけた。頻りに電話をかけあっている仲だったので、その時も「緊急」ということで、すんなりとつないでくれた。

「トゥルグット・ベイ！ 助けて下さい」トゥルグットは、オザル首相のファースト・ネームである。ただし、男性に対する尊称の「ベイ」をつけて呼んでいた。「どうした？ ドストウム・モリナーガさん」ドストウムは、トルコ語で「親友」の意味である。また日本通らしく「さん」をつけて呼んでくれた。

#### ■6. 「わかった。心配するな。親友モリナーガさん」

「トゥルグット・ベイ！ トルコ航空に指示を出して、テヘランにいる日本人を救出して下さい」  
「テヘランにいる日本人がどうしたと言うのだ？ モリナーガさん」

森永さんはテヘランでの日本人の窮状を説明した。本来トルコには何の関係もない事だが、こんな事をお願いできるのは、あなた他にいません、と必死で訴えた。オザル首相は森永さんの話を黙って聞いていた。いつもならすぐに返事をするのに、その時は話を聞き終わっても何も言わずに沈黙を続けていた。[1,p33]

私は固唾(かたず)を呑んで、彼の言葉を待っていた。「YES」とも「No」とも言わない。私にはこの沈黙の時間がものすごく長く感じられた。その間、「断られたらどうしよう」とか色んなことが頭をよぎる。でも彼は電話の向こうで沈黙を続けたままである。

やがてオザル首相は口を開いた。

「わかった。心配するな。親友モリナーガさん。後で電話する。」

この答えに、森永さんはしばし呆然としてしまった。「質問されたら困るな」と怖れていたのに、何の質問もない。小躍りしたくなるほど嬉しかったが、胸がつまってしまい、「大変、ありがとうございます。トゥルグット・ベイ」と言うのが精一杯であった。

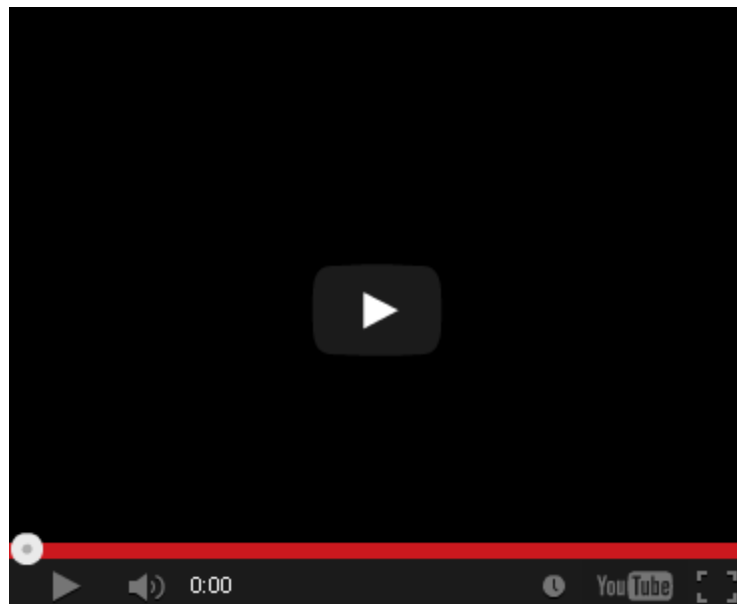
#### ■7. オザル氏との信頼関係

森永さんが、オザル氏に初めて会ったのは、この時点より10年ほど前だった。オザルさんはまだ政治家ではなく、いくつかの民間企業の顧問として働いていた。「日本は資源がないので資源を輸入し、技術力で付加価値を付け輸出している」と口癖のように言う知日家であり、親日家であった。

当時のトルコは、農業が最大の産業であったので、日本から技術を導入し、農業用トラクターの製造を行おうとしていた。しかし、当時のトルコは国自体が経済破綻の危機に瀕しており、そんな国に資本を投下しようとする日本企業は皆無だった。そこで森永さんが協力して、何とか工面した外貨でトラクターの部品を日本から輸入し、細々と組み立てるという事業をおこした。

1978(昭和53)年、トルコはついに外国からの借款が返済できなくなるという最悪の状態に陥った。トラクター製造事業も風前の灯火となったが、森永さんとオザルさんは力を合わせてこの困難に対峙した。この過程で互いへの信頼が強まっていった。

その後、オザルさんは、手腕を見込まれて経済担当大臣となり、「オザル経済改革パッケージ」を発表した。それまでの規制だらけの経済を自由化する事を原則として、これが今日でもトルコ経済運営の基礎となっている。大臣となっても、オザル氏は日本の経済運営を参考にしたいと、森永さんをよく大臣室に呼んで話を聞いた。オザル氏は、その後の内閣でも経済運営の腕を買われ、経済担当副首相となった。



そして1983(昭和58)年の総選挙では祖国党を立ち上げ、その分かり易い経済政策が国民に支持され、地滑り的な圧勝を遂げて、ついに首相になった。一時、帰国していた森永さんが、イスタンブール支店長として再赴任すると、オザル首相は森永さんを「日本関係私設顧問」と呼びながら、大事にしてくれたのである。テヘラン在留日本人の救出を頼んだのは、それからまもなくの事であった。

## ■8.「ハイレッティム(全てアレンジした)。心配するな。」

オザル首相は「心配するな」と言ってくれたが、その後トルコ政府からも、トルコ航空からも連絡が来ない。森永さんは心配になってきた。このままでは、[サダム・フセイン](#)声明の設定した期限が過ぎてしまう。

数時間後、やっとオザル首相自身から電話があった。どきどきして森永さんは首相の言葉を待った。首相は落ち着いた声で、「ハイレッティム(全てアレンジした)。心配するな。親友モリナーガさん」と言ってくれた。

日本人救援のため、テヘランにトルコ航空の特別機を1機出す。詳細はトルコ航空と連絡をとったら良い。日本の皆さんによりしく。それを聞いて、森永さんは驚くと同時に、体の芯から喜びが湧き上がるのを抑えきれなかった。

トゥルグット・ベイ！ 大変、大変、大変ありがとうございます。何も難しい質問をせず、私のお願いを聞き入れて頂き、ありがとうございます。

日本人の救出のために救援機を出して、後で政治問題になるかもしれないのに、リスクを取って大決断して頂き、ありがとうございます。どんなに感謝しても、感謝しきれません。早速テヘランの日本人にこの大英断を伝えます。大変ありがとうございます。

森永さんは電話を切ると、この朗報を直ちに東京経由でテヘランに伝えた。しかし、テヘランの日本人は、その情報をにわかには信じられなかった。それまでこの航空会社にも搭乗を拒否されて、絶望の淵にいたのだ。急にトルコ航空が特別機を出すと言っても、信じがたい思いだった。

そもそもテヘランには600人を優に超えるトルコ人ビジネスマンが滞在している。トルコ航空が特別機を出すと言っても、彼らを優先するのが当然なので、日本人まで席が回ってくるか、といぶかしく思ったのである。

## 地球史探訪：トルコによる[イラン](#)在留邦人救出(下)

# トルコはテヘランの自国民に陸路をとらせてまで、日本人救出を優先させた。

## ■1.「日本人の搭乗希望者数を教えてほしい」

事件当時、[イラン](#)に駐在していた野村豊大使は、当時をこう振り返って、こう語っている。[1,p144]  
さて、フセイン大統領の言うタイム・リミットの前日の18日夕方、ビルセル大使(駐[イラン](#)・トルコ大使)から、「明日、トルコ航空機が2機来る。空席があるから日本人の搭乗希望者数を教えてほしい」という電話が来ました。

その頃は大分空襲が激しくなっていたので、在留邦人は郊外の温泉地のホテルや、テヘラン市内の高級ホテルの地下室等に避難していました。大使館員は翌19日の明け方までかけて手分けして邦人の居所を探し、希望を募りました。

そして19日の晩に2機、一つは19時15分、もう一機は直前の20時頃飛び立ったのです。野村大使はビルセル大使と家族ぐるみの付き合いをしており、それが、こういう際にもスムーズに連絡をとれた一因であろう。ちなみに邦人が脱出した後も、野村大使と大使館員49名は現地に残った。

## ■2.「この任務を皆、喜んで引き受けました」

同じく、前日の夜、トルコ航空では日本人救出機の飛行準備を進めていた。機長のスヨルジョ氏は語る。[1,p148]。このフライトの飛行命令が出たのは、前日の夜でした。翌朝に飛行ルートを決定し、準備をして[アンカラ](#)に飛び、[アンカラ](#)で最新情報の取得や給油などを済ませ、現地へ向かうということでした。

救援機に乗り込んだ客室乗務員でもっとも若かったキョプルルさんは、「[イラク](#)爆撃の話聞いて恐怖心はありませんでしたか？」と聞かれて、こう答えている。[1,p149]

私にとっては予定外の仕事で緊張しましたが、怖くはありませんでしたし、非常に有意義な業務であるため、興奮したことを覚えています。

当社では職務上の命令でも、危険な業務であると自分が判断した場合は拒否することもできますが、私たちは非常に規律あ

る組織だったので、各人が業務の内容を理解し、また、人間として他者を助けるということが大切ですので、この任務を皆、喜んで引き受けました。

キョブルルさんはこの任務のことを夫には伝えたが、父母には心配させたくなかったので、話さなかったという。



2002年に宮城スタジアムで行われた日韓共催ワールドカップで、日本対トルコの試合後に、トルコ共和国のサポーターが掲げていた横断幕とプラカードです(下の画像も)

### ■3. 搭乗券を手にとると、歓声があがった

当時、東京銀行イラン駐在員としてテヘランにいた毛利悟さんは、こう回想する。[1,p145]  
 屋間チケットを求めてヨーロッパの航空会社の事務所を回り、チケットを入手しても自国民優先ということで座席の確保がなかなかできませんでした。そのうちに民間機撃墜の話があり、パニックのような状態になりました。

そこにトルコ航空機が救援に来る、という知らせが大使館から入った。[1,p150]。当日のテヘランの飛行場は脱出しようとするイラン人、外国人が一杯でしたので、いっせいに何千人という人が飛行場に駆けつけ、トルコ航空のカウンターの前にも長蛇の列が出来ていました。急なことだったので、着の身着のままの人も多かったのです。

それまで、どこの航空会社も「自国民優先」ということで、日本人の搭乗を拒否していたので、トルコ航空のチェックイン・カウンターに並んだ人たちも、本当に搭乗できるのか、疑心暗鬼であった。

最初に並んだ日本人が搭乗券を手にとると、歓声があがった。懸念が安心になると、後に並ぶ日本人たちは逸る気持ちを抑えつつ、順番が来るのを待った。特に家族連れ日本人は、実際に搭乗券を手にした時、「これで脱出できる」と、妻子を護る、夫として親としての責任を果たせたので、安堵の気持ちに包まれた。

### ■4. 「飛行機に駆け乗る乗客を見たのは初めてでした」

救援機はDC10、当時のトルコ航空では最大の機種であった。緊急の救援要請にも関わらず、こんな大型機をやりくりしてくれたのである。客室乗務員のキョブルルさんは、出発時の状況をこう語っている。[1,p152]

エンジニアが飛行機のドアを開けると、飛行機へ駆け込んでくる日本人を見ました。飛行機に駆け乗る乗客を見たのは初めてでした。私たちもとても緊張していましたが、皆さんはもっと緊張しておられ、その時に、早くお客さまを乗せ、一刻も早く出発しなければならぬということを強く意識しました。

乗客の方々は皆、恐怖を感じながらも、テヘランを脱出できるという喜びに溢れていました。私たちもその感情を共有することができました。私たちは客室乗務員として、できる限りのサービスをしました。飛行機がテヘランに到着してから、217名の乗客を乗せ、ドアを閉めるまで、わずか30分程度だった。

日本人乗客らは、緊急の救援機なので女性乗務員はいないだろう、とか、食事や、まして酒などなくとも仕方ない、と思い込んでいた。ところが、客室乗務員が全員女性、それも美しいトルコ女性がにこやかに普通の便と同じように出迎えてくれた事に驚いた。また食事や酒も出たのには、さらにびっくりした。

イスタンブルに着陸した時には、機内にお酒はまったく残っていなかったという。それだけ日本人乗客等は開放感に浸っていたであろう。

### ■5. 「ご搭乗の皆様、日本人の皆様、トルコによろこそ」

救援機が水平飛行に移って、しばらくすると眼下にアララット山が見えてきた。標高5165メートル、[イラン](#)とトルコの国境に位置している。この山を通過すると、スヨルジョ機長はアナウンスを行った。

「ご搭乗の皆様、日本人の皆様、トルコによろこそ」  
機内に歓声があがった。日本人乗客たちは口々に叫んだ。  
「トルコ領に入ったぞ！」[イラン](#)を脱出したぞ！」「やった！ やった！」「万歳！ 万歳！」

昨日からの一連の出来事が思い出され、いろいろな気持ちが一度に胸にあふれて、泣き出した人たちも多かった。殊に家族連れ日本人達は涙を浮かべつつ、なりふり構わず、喜びを爆発させていた。



こういう人達とこそもっと仲良くつきあっていきたいですね。

#### ■6.「我々は地獄から天国に来たのだ」

トルコのオザル首相に直訴して日本人救援機派遣を実現した伊藤忠商事・イスタンブル事務所長・森永堯(たかし)さんは、バスを仕立てて出迎えたが、アタチュルク国際空港に降り立った邦人たちを見て、驚いた。[1,p41]

薄汚れた普段着を着て、ビニール袋に取り敢えずの生活必需品を入れただけの持ち物を持ち、子供の手を引いて、文字通り「着の身着のまま」という姿で現れたのである。殊に子供連れの夫人達は、疎開地生活そのままという格好が、その苦労を物語っていた。お気の毒としか言い表せなかった。無理もない。疎開地から取るものもとりあえずテヘラン空港に駆けつけたのである。

ホテルに着くと、シーフード・レストランでの歓迎大宴会が待っていた。[イラン](#)ではアルコールが禁止されていたので、よく冷えたビールを口にすると、みな「今いるのは[イラン](#)ではなく、トルコなのだ」と実感した。

世界三大料理の一つと言われるトルコ料理を堪能した後でも、邦人たちは「店先に並んでいる生カキが美味しそう」と言い出した。森永さんは、もう暖かくなってきているので、生で食べてお腹でも壊したら大変と止めた。

森永さんがオザル首相の補佐官からの電話に出て、無事の脱出を報告し、席に戻ると、なんとテーブルにずらりと生カキが並べられ、皆が美味しそうに口にしているではないか。彼らは言った。「こんな幸せはない。我々は地獄から天国に来たのだ。カキに当たるなら当たってもいい。たとえコレラになっても、今までのつらい思いを思えば、ずっと幸せなのだ」

幸いにも、誰一人食中毒にもならず、翌日、全員、無事に日本に向かった。

#### ■7.「あなたを独りにしておかない」

しかしテヘランには、600人を超えるトルコ人ビジネスマンがいた。当日、日本人救援の特別機の他に定期便がもう一機来ていたので、その便で100名程度のトルコ人が帰国した。

残る500名近くのトルコ人は、なんと陸路、つまり車で帰国したのである。テヘランからイスタンブルまでは、猛スピードで飛ばしても3日以上かかる。つまりトルコは自国民を遠路はるばる車で帰国させてまで、外国人である日本人に特別機を提供して、救出したことになる。

「こんなこと、日本だったら許されるだろうか？」  
私はそう考えると、まず怖れたのはトルコのマスコミの反応であった。

「外国人である日本人を優遇し、自国民たるトルコ人を粗末に扱った」と報道しかねない。野党がスキャンダラスにこの件を取り上げ、オザル首相批判を行っても不思議ではない。ましてやトルコ人は熱狂的な愛国者である。

私は固唾を呑んで事態の推移を見守った。しかし、それらは全くの杞憂(きゆう)であった。なんと、誰も問題視しなかったのである。トルコのマスコミ、そしてトルコ国民の度量の大きさに私は感銘を受けた。武勇で鳴らしたオスマントルコは、日本と同じサムライの国である。トルコ人は「あなたを独りにしておかない」という。困ったあなたを放ってはおかない、という意味である。「武士の情け」と同じ心だろう。

## ■8. 恩返し

森永さんは「トルコ航空にかならず恩返しをしよう」と自分に誓った。やがてそのチャンスがやってきた。トルコ航空が、エアバスの長距離大型機を2機購入したいというのだが、その資金がなく、15年もの延べ払いが必要であった。

当時、トルコのカントリー・リスクは高く、長期の信用供与をしてくれる企業はなかった。森永さんは「私自身が担保となり、支払い遅延が発生したら必ず取り立てる」と言って、関係者を説得し、ついにトルコ航空とのファイナンス・リース契約にこぎ着けた。

また、トルコ航空はイスタンブル＝成田間の就航を強く望んでいたが、成田の発着枠は満杯であり、交渉は一向に進展しなかった。森永さんは運輸省の高官に説いた。「日本人の為に、これまでに救援機など出してくれた国が、他にあったでしょうか？」「それでもトルコ航空の要望を、他の国の航空会社と同じ扱いになさるのですか？」

「そうだったね。そんな事件があったね」と答えて、その高官は、政府関係者を説得して回った。こうしてトルコ航空の希望通り、成田への乗り入れが決まった。そしてなんと森永さんが斡旋したエアバス2機がイスタンブル＝成田線に就航したのである。成田便は、トルコ航空のドル箱路線になった。心配されていた15年のリース契約についても、トルコ航空は1度たりとも、支払い遅延を起こすことなく完済した。

平成18(2006)年1月、小泉首相はトルコ公式訪問の事前説明で、トルコ航空によるテヘラン在留邦人救出事件の話を書いて感激した。

そして、その年5月17日にテヘランで、トルコ航空の元総裁、元パイロット、元乗務員たち11名の叙勲を行った。通常、日本政府が外国人に対して行う叙勲は20名程度だが、この年はそれに加えて、トルコ航空関係者11名の大量叙勲を行ったのである。また、オザル首相はすでに亡くなっていたので、未亡人に小泉首相の感謝状が贈られた。

日本とトルコは、長く深い友好の歴史があるが、このトルコ航空による邦人救出は、その特筆すべき1頁である。(文責:伊勢雅臣)

### ・森永堯『トルコ世界一の親日国 危機一髪!イラン在留日本人を救出したトルコ航空』

カテゴリ: 政治も フォルダ: 指定なし   

コメント(42)

タグ: 国際人養成講座 伊勢雅臣 トルコによるイラン在住日本人救出 森永堯 トルコ世界一の親日国 危機一髪!イラン在留日本人を救出したトルコ航空 百年前の恩返し 百年前の恩の三倍返し 日本トルコ友好120

コメント(42)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by 花うさぎさん

2010/09/08 06:43

・ニュース 中国人船長を逮捕 違法操業の漁船

沖縄・尖閣諸島の日本領海に侵入した中国の漁船が海上保安庁の巡視船に接触しながら逃走した問題で、海上保安庁は8日未明、公務執行妨害の疑いで、中国人の男性船長(41)を逮捕した。海保は今後、船長を石垣海上保安部(沖縄県石垣市)に移送。違法操業をしていた疑いもあり、詳しく取り調べる。

漁船は「●(「門がまえ」の中に「虫」)晋漁(みんしんりょう)5179(166トン)。7日午前、尖閣諸島付近の日本領海内で操業しているところを海保の巡視船が発見。逃走したが、同日午後1時ごろ、巡視船が停船させ立ち入り検査を行った。漁船は逃走の間、「よなくに」「みずき」の巡視船2隻に接触、損傷させていた。

<http://sankei.jp.msn.com/affairs/crime/100908/crm1009080226001-n1.htm>

・朝刊一面には間に合わなかった記事。衝突があったのが午後1時、支那中共が抗議声明を出し、海保と外務省が押し合いして逮捕を決めたのが深夜になってからという情けなさ。逮捕しただけでもマシか？



Commented by **花うさぎさん**  
・イベントガイド「日本の神話」講演会

2010/09/08 06:46

神話と歴史がつながっているのは世界でも日本だけだそうです。そんな素敵な日本の神話を学んでみませんか？日本の心をつたえる会では高森明勅先生をお招きして「日本の神話」勉強会を行います。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

講師:高森明勅氏

日時:平成22年9月19日 18時開場 18時30分開始

場所:東京芸術劇場 中会議室(5F) <http://www.geigeki.jp/access.html>

参加費:1000円

主催:日本の心をつたえる会(<http://www.nippon-kokoro.com/>)

協賛:愛国女性のつどい花時計(<http://www.hanadokei2010.com/index.php>)

連絡先:info@nippon-kokoro.com



Commented by **花うさぎさん**  
・ニュース2

2010/09/08 10:39

原口総務相:[A級戦犯](#)の合祀手続き検証へ、省内に検討会

原口一博総務相は7日、[靖国神社](#)に[A級戦犯](#)が合祀(ごうし)される過程で国がかかわった行政手続きに問題がなかったかを、国として初めて検証する考えを明らかにした。有識者や政務三役などによる検討会を近く[総務省](#)に設置する方針。[靖国神社](#)は合祀について「国の事務手続きに従った」と主張しており、過去の行政手続きが不適切だとされた場合、合祀の有効性が問われる可能性もある。(後略)

<http://mainichi.jp/select/wadai/news/20100908k0000m040142000c.htm>  
|

・この問題を蒸し返すところがいかにも「反日」らしいおぼっちゃんだ。



Commented by **猫のひげさん**

2010/09/08 10:50

素晴らしい話です。[イラン](#)脱出の詳細については初めて知りました。涙が出ました。エルトゥールル号難破のことと一緒に、もっと広めたいですね。日露戦争で日本が勝ったときに随分と喜んでくれた国ですし。

ワシが[ドイツ](#)に居た頃、3K分野の底辺の仕事いわゆるGastarbeiter、出稼ぎと呼ばれるトルコ人に[やらせ](#)ていました。その頃のワシはトルコ人やイスラムの知識[ゼロ](#)だったので、街のトルコ人たちを、内心冷ややかに見ていた気がします。ドイツのミーハーな連中は露骨に馬鹿にしていました。

今では[ドイツ](#)中にトルコ料理Kebabの店がありますね。時代の変遷を感じます。

しかし、こういった対応を見るに、日本政府の異常さが際立つし、トルコがどこかのアジアの国とは全く違う精神構造を持つことが解り、大切にしなければ、と思います。これも[出先機関](#)や民間の高い志を持つ日本人がいてこそその話であって、「国」として確固たる対応が常にできない日本を何とかしないと、日本精神をもつ日本人がどんどん減っていくのではと心もとない限りです。

マスコミ、行政も問題ですが、やはり国の基本は教育でありまして、日教組解体が始めの一歩となるはずです。



Commented by **花うさぎさん**  
To 猫のひげさん こんにちは。

2010/09/08 11:23

>素晴らしい話です。[イラン](#)脱出の詳細については初めて知りました。涙が出ました。



2010/09/08 12:50

長いエントリーなのにご覧いただきありがとうございます。私も民間人が活躍していたとは今回初めてでした。

>日露戦争で日本が勝ったときに随分と喜んでくれた国ですし。

本当ですね。トルコではエルトゥールル号の話を今でも学校で教えていて皆知っているというのですから、教育の重要性がわかります。

>日本精神をもつ日本人がどんどん減っていくのではと心もとない限りです。

大事なことはほとんどスポイルされてきましたしね。

>やはり国の基本は教育でありまして、日教組解体が始めの一步となるはずで。

それが結論ですね。日本から反日教師を早く一掃したいものです。



Commented by **ss400 さん**

2010/09/08 13:25

エルトゥールル号の話を映画化しようという話があったが、恩着せがましいと思っていました。

映画化するならば、こっちだろう。



Commented by **tropicasso さん**

花うさぎさん、こんにちは。

こういう美談こそが円借款何かよりも心に響き、残る両国の財産ですね。日本は確かに神話と歴史が繋がっている世界でも稀有な国家なので、神話やこういう美談は本来、歴史教科副読本や国語教科書で取り上げられてしかるべきです。日教組解体が先決です。

昨日は私の古い友人(大阪の柄の悪い地区育ち、奥さんが韓国人)と日韓について酒を飲みながら激論をしました。仲が良いので危うくはならないのですが、認識の溝はお互い埋まらないですね。奥さんの家族は彼の地での日本の悪行(人殺し等)を彼に吹聴するそうですが、こっちも負けずに、朝鮮人は恩を仇で返すとんでもない民族だと応酬しました。

矢張り、言いたいことはキツチリ主張をしないと駄目です。彼も日韓歴史認識共有はできっこないと言いましたが、同席していた友人は矢張り日教組教育史観に侵されていて、本当に日本人の歴史認識の間違いは大変なことだと感じますね。

下らない書き込みでスミマセン(^^;



Commented by **花うさぎ さん**

To ss400さん こんにちは。

2010/09/08 13:49

>映画化するならば、こっちだろう。

はい。でもやはりエルトゥールル号の件や日露戦争の話も部分的に入れて、両国の友情は急に醸成されたものではない、古い歴史がある、ということにも触れたいです。



Commented by **花うさぎ さん**

To tropicassoさん こんにちは。

2010/09/08 13:53

>こういう美談こそが円借款何かよりも心に響き、残る両国の財産ですね。

確かに。特アなご放って置いて親日国と取り組みを強化すべきですね。

>日教組解体が先決です。

それは間違いありません。

>こっちも負けずに、朝鮮人は恩を仇で返すとんでもない民族だと応酬しました。

おっ、掴み合いにならない範囲で頑張っ(^^)。

>本当に日本人の歴史認識の間違いは大変なことだと感じますね。

年をとると今更「学ぶ」という心境に慣れないのかも知れませんか。



Commented by **iza1824** さん

花うさぎさんこんにちは、

2010/09/08 13:59

このトルコと日本の間の心温まる事実よく憶えて居ります。又、この一ヶ月の間に何処の局かは憶えて居りませんが放映しておりました。

それだけに、ほんの最近ですが、トルコ初の原子力発電所の工事を韓国に獲られてしまいました。韓国の条件が日本の提出した条件を格段に下回る値段と格段に長期なアフターケアであったようですが、その時の恩を返すためにも韓国の条件より有利な条件を「トルコ国との永久の友情を誓う条件」をだす為は何で日本が国として援助しなかったのか残念で情けないです。

台風の余波とはいえ、良い雨ですね？



Commented by **keroyon** さん

花うさぎさん、こんにちは。

2010/09/08 14:21

この邦人救出のエピソードは断片的に知っていましたが、実際の当事者だった方々のお話をベースにした読み物として詳しく知ったのは初めてです。とても感動しました。ご紹介ありがとうございました。

今井佐緒里編集の「ニッポンの評判 世界17カ国最新レポート」という新書があるのですが、そこにもトルコのことを「世界で一番の片思い」として親日国トルコの話が紹介されています。例えば現地にいる日本人通訳の話として、彼女がトルコで出産したとき、「日本人の赤ちゃんがいる」と病院中で話題になり、「見せてもらえませんか」とひっきりなしに人がきたり、看護婦さんも嬉しそうに赤ちゃんを見せて回ったりして大変だったとか。

またエルトゥールル号事件のころ、自ら義捐金を携えてトルコに渡った民間人の山田寅次郎という人がいました。彼は請われてトルコの士官学校で教鞭をとったのですが、その生徒の中にのちにトルコの建国のヒーローでトルコ共和国の初代大統領となるムタファ・ケマル・パシャ(ケマル・アタチュルク)がいました。彼は、明治維新を手本としてトルコ革命を推進したと言われた人物で国民から「トルコの父」と呼ばれていますが、その彼は、山田寅次郎の影響か明治天皇の写真をいつも机上に飾っていたそうです。ご存知の話でしたらすみません。

わが国は、何かとガーガーうるさい、シナ・韓国なんぞは適当にあしらって、台湾、トルコといった親日国家との友好関係をもっと深めていかなければいけないですね。

余談ですが、上記の本では「トンガ」もすごい日本好き、日本びいきとして紹介されていました(^^)



Commented by **花うさぎ** さん

To [iza1824](#)さん こんにちは。

2010/09/08 14:24

>この一ヶ月の間に何処の局かは憶えて居りませんが放映しておりました。

それは気が付きませんでした。

>何で日本が国として援助しなかったのか残念で情けないです。

相手が韓国だと余計に腹が立ちますね、安全性が心配です。

>台風の余波とはいえ、良い雨ですね？

東京は凄い土砂降りですが、恵みの雨です(^^)。



Commented by **花うさぎさん**

・ニュース3

2010/09/08 14:25

鈴木議員の実刑確定へ＝無罪主張の上告棄却－受託収賄など4事件・最高裁

受託収賄、あっせん収賄など四つの罪に問われた衆院議員鈴木宗男被告(62)の上告審で、最高裁第1小法廷(金築誠志裁判長)は7日付で、被告側上告を棄却する決定をした。懲役2年、追徴金1100万円の実刑とした一、二審判決が確定する。

鈴木被告は確定後、収監される。公選法などの規定により、確定すれば失職し、懲役刑の執行後10年間は立候補できなくなる。鈴木被告は、政治資金規正法違反罪と議院証言法違反罪を含め、一貫して全面無罪を主張していた。

2004年の一審東京地裁判決は、すべての事件を有罪と認定した上で、「高度の廉潔性を求められる要職にありながら国民の信頼を裏切った」と非難。「反省は皆無で、虚偽の陳述をしてはばからない被告に刑を猶予するのは相当ではない」として、実刑を言い渡した。(後略)

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20100908-00000100-jij-soci>

・これで議員復帰の目がなくなるでしょう。うるさいのが片づきました。



Commented by **花うさぎさん**

To keroyonさん こんにちは。

2010/09/08 14:41

>実際の当事者だった方々のお話をベースにした読み物として詳しく知ったのは初めてです。とても感動しました。

私もはじめてでした。編集しながら涙が出てました(^^;)。

>看護婦さんも嬉しそうに赤ちゃんを見せて回ったりして大変だったとか。

へえ～ここまでくると親日も本物ですね。

>「トルコの父」と呼ばれていますが、その彼は、山田寅次郎の影響か明治天皇の写真をいつも机上に飾っていたそうです。

これは本の名前は忘れましたが呼んだことがります。

ご存知の話でしたらすみません。

>台湾、トルコといった親日国家との友好関係をもっと深めていかなくてははいけませんね。

本当ですね。早く保守政権を創って日台同盟結ばないと、それに「自由と繁栄の弧」でシナ包囲網を構築しないといけません。

>上記の本では「トンガ」もすごい日本好き、日本びいきとして紹介されていました(^\_^)

これは情報感謝です。ちょっと調べてみます(--)。



Commented by **おっさんさん**

2010/09/08 16:09

keroyonさんのコメントにトルコ共和国初代大統領ムタファ・ケマル・パシヤ(ケマル・アタチュルク)のことがありますが、新潟の地震以来昨年まで柏崎市でトルコから寄贈された

このトルコの英雄の像が酷い取り扱いを受けていることがありました。このことを知った、どこかの20歳くらいの若い方が像の取り扱いの改善を訴えて署名活動を開始されたので、署名をしたことを思い出しました。平成22年6月ころには、ケマル・アタチュルク像をトルコ軍艦遭難記念碑(エルトゥール号の記念碑)があるところへ移して展示されるようになったそうで一安心といった感じを持っています。しかし、日本人はトルコの英雄像をあんな酷い取り扱いをしていたとは、トルコに申し訳がないとしか言えません。ただ、ただ、署名活動を立ち上げた20歳くらいの若い方やその他の方が頑張ってくれたことに感謝するのみです。



Commented by **causal** さん

2010/09/08 16:37

教科書に是非載せたい美しい歴史の一コマですね。

このエピソードは以前、毎週金曜日の20時テレビ東京放映の「世界を変える100人の日本人」という番組で取り上げられておりました。但し森永氏やオザル氏の粉骨砕身の努力によって成し遂げられた結果であるとの真相までは描かれてはおりませんでした。さて、親日国と言えばポーランドもそれに当たると思います。

同じくその番組で取り上げられた1920年の頃、765名のポーランドの孤児をシベリアから救出した我国の「教科書にも載らない実話」もあり、ポーランドの親日度合いも高いようです。このエピソードも我が日本人の精神の気高さを示す(特亜にはあり得ない)ものとして語り継ぐべき歴史と思います。花うさぎ様。是非いつの日か取り上げて下さいませ。



Commented by **花うさぎ** さん

2010/09/08 16:53

To おっさんさん こんにちは。

>トルコの英雄の像が酷い取り扱いを受けていることがありました。

ありましたね～。

>署名活動を立ち上げた20歳くらいの若い方やその他の方が頑張ってくれたことに感謝するのみです。

本当にそう思います。一時はヒヤヒヤして見ました。柏崎には三井田市議会議員がいますので、問い合わせしようかと思っただけです。



Commented by **花うさぎ** さん

2010/09/08 16:59

To causalさん こんにちは。

>毎週金曜日の20時テレビ東京放映の「世界を変える100人の日本人」という番組で取り上げられておりました。

これは情報感謝です。今後チェックするようにします。

>同じくその番組で取り上げられた1920年の頃、765名のポーランドの孤児をシベリアから救出した我国の「教科書にも載らない実話」もあり、ポーランドの親日度合いも高いようです。

はい、その話は私も良く知っていて、一昨年八月にブログをスタートして四日目に「善意の架け橋—ポーランド魂とやまと心」というタイトルでテキストのみですが取り上げました。

<http://hاناusagi.iza.ne.jp/blog/entry/693715/>

もう一度チェックしなおして画像と動画入りで改めて紹介したい「良い話し」ですね。



Commented by **花うさぎ** さん

2010/09/08 18:40

・緊急FAX情報です！

鳴霞さんからFAXをいただきました。鳴霞さんの情報とほぼ同じ情報が中国語でネットに掲載されていました。

2010/09/08 18:40

<魚釣島紛争再起、兩岸四地区の英雄再び保釣行動を開始>

<http://news.creaders.net/headline/newsViewer.php?nid=444081&id=1007295&dcid=15>

以下、鳴霞さんからのFAXです。私がいづらか表現を修正しています。

-----<鳴霞さんからのFAX>-----

本日、昼11時頃、保釣団体は香港にある日本領事館の前で抗議デモを行われます。[台湾](#)、香港、[マカオ](#)、大陸などほ釣り行動会議は、土曜日(9月11日)前後に台北に集まり会議を開催します。その会議後に、魚釣島へ行き、中国の領土と主権を主張する予定です。

保釣行動主席、陳妙徳は、「全世界保釣者のトップは、9月11日台北で保釣大会を開催します。香港、[マカオ](#)、大陸、台湾の代表は魚釣島へ集まり、主権を宣言する予定である。」と発表しました。

保釣委員の執行委員トップ曾健成氏の話では、「魚釣島へ行き、中国の主権を宣言する予定ですが、香港から出港した場合、港政府の妨害の心配があります。そのため、[台湾](#)から出港することもほのめかしました。しかし、結局どこから出港するかは明言しませんでした。



Commented by [花うさぎさん](#)

曾健成氏は、「日本がますます魚釣島に対して侵略を行うのでこれ以上我慢できません。」と語りました。[中国全国政協委員](#)、保釣委員の顧問、劉夢熊は、「私は保釣委員会に香港ドル300万を寄付します。」「船を購入して、魚釣島へ行く」といいました。

同時に彼は、世界の華僑、中国人に対して、「保釣委員で大きな船(ウクライナーの退役軍艦)を購入するためにカンパをよびかける」と語りました。劉孟雄はまた、[中国軍](#)のトップは、日本が魚釣島に進駐した場合、[中国軍](#)は緊急対策を取るべきと言っていると伝えました。

保釣委員会副主席、区伯権は、記者会見で厳しい声明を発表した。「魚釣島は、古来から中国の領土の一部である」。声明の中では、「すべての中国人(世界各国に住む)よ、[韓国人](#)が[竹島](#)を守ったように、日本人をやっつけていけ!(独島モデルをみならえ!)」と呼びかけた。

以上です。JSN 仲村



Commented by [causalさん](#)

>もう一度チェックしなおして画像と動画入りで改めて紹介したい「良い話し」ですね。

花うさぎ様有難うございます。情報発信、拡散希望致します。  
日本よ、栄光あれ!!



Commented by [花うさぎさん](#)

To causalさん

>情報発信、拡散希望致します。

仕えたいことは繰り返し、手を変え品を変えてしつこくやらないといけませんね。



Commented by [shironeko-japonさん](#)

花うさぎさん、こんばんわ!

日々勉強させて頂いてます。しかし今日のお話は、私が大好きなトルコだけに、一層熱心に読みました。

私がトルコに関わったのは、1979年の夏、パリからイスタンブールまで往復24間のバスツアーに参加したからでした。

2010/09/08 18:46

2010/09/08 21:10

2010/09/08 21:37

総勢13名(仏人2名・ケベック人7名・ガイド(仏人)運転手(アラブ人)日本人2名(私・連れ合い)での何か書けそうな面白旅行でした。

2010/09/08 22:45

イスタンブールでトルコ人のガイドが加わり、5日間アチコチ行きましたが、ボスポラス海峡を船で渡った際、[ヨーロッパ](#)とアジアを結ぶこの海峡に架かる橋は、日本人に作って貰って感謝してるだの、トルコ人のおばあさんが、私を見つけると「こっちにおいで」と手招きし、ずっと「孫の様だ」と抱き締めてくれたり・・・、親日を非常に体感しました。

[ヨーロッパ](#)人との団体だから、余計に親近感を現地の方々は、我々に持ったんだろうと思いますが、トルコ人ガイドが余りに堪能な仏語を話すので、それまでケベック人の酷い訛り言葉に辟易していた私は、耳の心地良さに思わず、そのガイドさんとお喋り・・・、「日本人とトルコ人は親戚、だって(蒙古班)がトルコ人にも有るんですよ」と聞かされ、驚きました。

帰国後トルコ語を早速習って彼に手紙しましたが、返事は仏語でしたね。(笑)

親日の国々に[ODA](#)等するのなら、協力は惜しみませんが、[中国](#)・[韓国](#)は止めて欲しいです。  
只隣国と言うのはどこでも仲が悪いものなので、地理的な面も有るのかな?とも思いますが・・・違いますよね!



Commented by [摂津の守 さん](#)

テレビ番組って、これですね。

[http://www.youtube.com/watch?v=O\\_iUJ\\_LEW7w&feature=related](http://www.youtube.com/watch?v=O_iUJ_LEW7w&feature=related)



Commented by [iza1223 さん](#)

こんばんは。

2010/09/09 03:40

トルコは親日とは聞いていましたが、このようなエピソードがあったんですね。初めて知りました。

あと、エントリとは関係ないのですが気になるニュースがありましたので、書き込みさせていただきます。

//-----[宮内庁](#)所蔵の韓国文化財

[宮内庁](#)所蔵の韓国文化財、年内には戻る見通し

<http://www.chosunonline.com/news/20100906000023>

菅談話に関連する[韓国](#)文化財の返還について動きがあるようです。  
記事に「年内に返還」「準備作業を進めている」という記述があるのが気になります。

朝鮮日報以外、「年内に返還」というソースは見つけられなかったのですが、警戒するにこしたことはないと思います。

※参考資料

【日韓併合[首相談話](#)】朝鮮半島文化財の儀典書返還 「適切に対応」と[宮内庁](#)

<http://sankei.jp.msn.com/culture/imperial/100810/imp1008101142001-n1.htm>

皇室を売る菅談話 亡国の堰は切って落とされた

<http://blogs.yahoo.co.jp/umayado17/60972731.html>

//-----[内閣法制局](#)の廃止

小沢氏「女性[天皇](#)」を容認 菅、鳩山両氏は閣内に [靖国神社](#)は分祀を

<http://sankei.jp.msn.com/politics/situation/100908/stt1009082332024-n3.htm>

小沢氏、女性[天皇](#)に前向き [内閣法制局](#)を廃止

<http://www.sponichi.co.jp/society/flash/KFullFlash20100908109.html>

本文中に、[内閣法制局](#)の廃止を明言する部分があります。  
「国会法改正案」のときも、[内閣法制局](#)の廃止を目論んでいましたが、  
この男、やはり危険です。

2010/09/09 05:48

※参考資料

国会法改正案の正体 by国民が知らない反日の実態  
<http://www35.atwiki.jp/kolia/pages/1128.html>

国会法改正案の動画

[http://www.youtube.com/watch?v=a9GARh\\_YHxU](http://www.youtube.com/watch?v=a9GARh_YHxU)



Commented by [meudon92](#) さん

花うさぎさん、こんにちは、

すばらしいお話を教えてくださってありがとうございます。

感動しました。森永さんの陰の力も大したもので、真摯にいい仕事をされてこられた道程で、人徳や友情を育まれてこられたからこそ、その延長戦で代ホームラン級のご活躍ができたのでしょう。

現[中国](#)大使の何がしも、伊藤忠だったと思うのですが、こういうエピソードを旨に仕事をしていたきたいものですね。



Commented by [iza706](#) さん

おはようございます。

涙しながら読ませていただきました。。。

2010/09/09 09:30

トルコは親日国家とは知っていましたが、こんな凄いことがあつたなんて！「あなたを独りにしておかない」うわ～～～！私もあちらへ移住したい～～；；

こんな素敵な友人を裏切る行為があつてはなりませんよね。  
絶対、現政権は潰さねば！  
これからもずっと信頼されるよい関係を続けていくために・・・



Commented by [花うさぎ](#) さん

To [shironeko-japon](#)さん おはようございます。

2010/09/09 09:57

>「孫の様だ」と抱き締めてくれたり・・・、親日を非常に体感しました。

へえ～そんな体験をされたのですか？

>わず、そのガイドさんとお喋り・・・、「日本人とトルコ人は親戚、だって(蒙古班)がトルコ人にも有るんですよ」と聞かされ、驚きました。

これは何かで呼んで記憶がわたしにもあります。

>地理的な面も有るのかな？とも思いますが・・・違いますよね！

違います。かたや「嘘をつくのは生きる上で当たり前」の人種、日本人は「嘘は泥棒の始まり」と教わって育てられますからね。根本的に相容れないでしょう。



Commented by [花うさぎ](#) さん

To [摂津の守](#)さん おはようございます。

2010/09/09 09:58

>テレビ番組って、これですね。

おお～情報ありがとうございます。いいビデオですね。

次に使わせていて抱きます(^^)。



Commented by [花うさぎ](#) さん

To [iza1223](#)さん おはようございます。

2010/09/09 10:01

>このようなエピソードがあつたんですね。初めて知りました。

2010/09/09 10:03

救援機が来るまでの白熱した実況中継みたいな貴重な話ですね。

>気になるニュースがありましたので、書き込みさせていただきます。

情報ありがとうございます。

皇室や天皇陛下まで出てくるとは、いよいよ国体にまで手を突っ込むのかと警戒せざるを得ないですね。



Commented by **花うさぎさん**  
To meudon92さん おはようございます。

2010/09/09 10:05

>人徳や友情を育まれてこられたからこそ、その延長戦で代ホームラン級のご活躍ができたのでしょう。

はい。この人大和魂をもった純粋日本人ですね。

>現中国大使の何がしも、伊藤忠だったと思うのですが、こういうエピソードを旨に仕事をしていただきたいものですね。

知らないと思いますよ(^.^;)。

同じ会社のよしみで一冊届けて欲しいですね。



Commented by **花うさぎさん**  
To iza706さん おはようございます。

>あつたなんて！「あなたを独りにしておかない」  
>うわ～～～！私もあちらへ移住したい～～；

これは日本が貧しくとも清く美しかった頃の武士道、日本精神そのものですね。

>これからもずっと信頼されるよい関係を続けていくために・・・

御意！。はやく「日本」を取りもどしましょう。



Commented by **第一義@運国齋さん**  
素晴らしい話ですね。両国の友好は永遠に保たれるべきです。

2010/09/09 10:06

がしかし、故郷新潟県の柏崎市のトルコ文化村に対する市長会田の仕打ちは未だに許しがたいです。しかもトルコ文化村を売却した先がうちの実家にある在日系の廃品収集業者ですから、会田の人となりは良くわかりますね。

あの男は隠れ左翼ですね、絶対。



Commented by **花うさぎさん**  
To 第一義@運国齋さん おはようございます。

2010/09/09 10:10

>あの男は隠れ左翼ですね、絶対。

隠れ、ではなくて真性左翼でしょう。柏崎の原発事故では東電から50億もぼったくりですよ、なんだかんだ因縁つけて。

新潟県民は次の知事選で良識を発揮して欲しいですね。



Commented by **からすさん**  
To 花うさぎさん  
causalさん

2010/09/10 02:10

・拝見しました。

20080826のエントリー 善意の架け橋 [ポーランド](#)魂とやまと心

<http://hanausagi.iza.ne.jp/blog/entry/693715/>

最近はこのような話を読むと不覚にも目が潤みます。2年前のこの花うさぎさんのエントリー



のコメントが、御両名の1件ずつ、計2件と少ないですね。

2010/09/10 02:12

さて、エルトゥールル号の話など日本人の美しい心を示す話をたくさん集めた「教科書が教えない歴史」(平成18年8月10日初版発行)を引っ張り出してみました。子供向けのため詳しい表現は少なく大人には物足りませんが、子供に日本人の誇りを持たせるべく読ませようとして4巻まで購入しました。

行きつけの飲み屋さんのママの娘さん(25歳)が読みたいというので4冊貸したことがありましたがどの話も聞いたことがなく勉強になったと大変喜んでくれました。

花うさぎさんのエントリーに感謝。」



Commented by **からはずさん**

原口一博はなんのために「いわゆる」[A級戦犯](#)の靖国合祀の手続き過程を検証しようとするのですかね。

2010/09/10 09:36

彼はTV出演をうまく[政治活動](#)に利用しますが全く信用できません。彼のあたりの良い話し振りに騙されてはいけません。彼の発言で耳につくのは、「……さんの今の話は大事なことで、……」という表現。いかにも誠実そうな言い方ですが、このあとに大事とは思っていないとしか言えない発言が続きます。

綱領を持たない政権党は日本の民主党とドイツのナチス党(国家社会主義[ドイツ労働者党](#))だけと聞きますが、[民主党](#)は裏綱領なるものを持ち、「国民を騙すための嘘は許される。」「閣僚の立場では言えない」と言って誤魔化せ。」と書いてあるのではないのでしょうか。[民主党](#)は幹部を先頭に嘘を平気で言います。

国会やTVでの一博の「誤魔化し回答」をもう少し突っ込むマスコミの若手はいないのですかね。

しっかりと突っ込むのは金美齢さんぐらいでしょうか。しかし金美齢さんでもまだ少し騙されているようで矛先の鈍いところがあります。「でもTVは編集されてなかなか自分の信じている事が伝わらないということもあり……」とご本人もHomePageで述べられています。

本性を現した一博に天誅。鳩山に天誅。小沢に天誅。仙谷に天誅。山岡に天誅。細野に天誅。小宮山に天誅。前原、野田などいっぱい書いて書ききれません。

[民主党](#)内の保守派と言われている人達はいったい何をしているのでしょうか。長島…どうした！？

だんだん脈絡がなくなってしまうました。

花うさぎさんのエントリーに感謝。」



Commented by **花うさぎさん**

To からはずさん おはようございます。

>最近はこのような話を読むと不覚にも目が潤みます。

私はかなり前からそうですよ(^\_^;)。

>2年前のこの花うさぎさんのエントリーのコメントが、御両名の1件ずつ、計2件と少ないですね。

まだ始まったばかりで、一日のアクセスが数百の時でしたので(^\_^;)。

>話も聞いたことがなく勉強になったと大変喜んでくれました。

おお～素敵なお話ですね。もっともつとつこういう事実を拡散したいですね。」日教組が慌てるくらいに。



Commented by **花うさぎさん**

To からはずさん

2010/09/10 09:39

>[民主党](#)は幹部を先頭に嘘を平気で言います。

はい、左翼の特徴ですね。空気のように平然と嘘をつき、「騙される方が悪い」と居直る。特アそのものですよ。

>[民主党](#)内の保守派と言われている人達はいったい何をしているのでしょうか。長島…どうした！？

2010/09/10 21:26

保守的意見を言う人は残ってますが、国土としての保守政治家はもういないも同然です。



Commented by **sugar12345 さん**

花うさぎ様

2010/09/17 09:18

こんばんは。いつも素晴らしい記事を有難うございます。  
トルコの皆様の写真とても嬉しいです。  
今日偶然ポスターを見て知ったのですが、船の科学館で以下の企画を開催中とのことです。ご存知かもしれませんが転載させて頂きました。  
船の科学館に子供を連れて行こうかな～と思っていた矢先でした。  
期間中に間に合うか分かりませんが、もし行けたら御報告しますね！

<http://www.funenokagakukan.or.jp/news/?p=544>

企画展「海が結んだ日本とトルコ」開催中  
“エルトゥールル”遭難から120年  
日本とトルコ、友好の歴史を紐解く。

- 1.名称 日本・トルコ友好120周年記念企画展  
「海が結んだ日本とトルコ軍艦“エルトゥールル”の遭難事故からー」
- 2.主催 船の科学館
- 3.協力 駐日トルコ共和国大使館, 和歌山県串本町
- 4.会期 平成22年8月7日(土)～平成22年9月23日(木・祝)
- 5.会場 船の科学館 本館3階 [マリタイムサルー](#)ン



Commented by **コードネームは6-4-3 さん**

実は、余り知られていないですし流通もしていないのですがトルコ産のデニム(ジーンズを作る生地)が人気が出てきました。  
普通のコットンと違い、糸が長く取れるので  
独特の肌触りと、色落ち感に定評があります。  
もし、見かけたら是非。  
弊社取引先でも使っているのですが、シナ産というブラックジョーク。  
もっとも、デニムは我が国の岡山産が世界的に人気があります。  
坂本デニムといえます。



Commented by **花うさぎ さん**

To [sugar12345さん](#)おはようございます。

2010/09/17 09:35

すいません、見逃していました(--)

- >4.会期 平成22年8月7日(土)～平成22年9月23日(木・祝)
- >5.会場 船の科学館 本館3階 [マリタイムサルー](#)ン

情報ありがとうございます。ああ～これは是非行きたいイベントですね。

都合がつかうかどうか？



Commented by **花うさぎ さん**

To [コードネームは6-4-3さん](#) おはようございます。

2010/09/17 09:38

- >普通のコットンと違い、糸が長く取れるので
- >独特の肌触りと、色落ち感に定評があります。

これは情報ありがとうございます。知りませんでした。

- >もっとも、デニムは我が国の岡山産が世界的に人気があります。
- >坂本デニムといえます。

はい、これは知っています。品質はよいけど価格が、という問題もありますが、いい加減、日本人は「安ければ」という感覚から抜け出して欲しいと思いますね。良いものをしっかり

大事に使う、それが国内産業を育てることにもなるのですから。